

## ◇ すてきな卒業式ができました 3/16（木）



卒業生ステージ集合



卒業生入場

早春の暖かい日差しの下、第70回卒業式を挙行了しました。前日まで体調不良などによる欠席者が多く、心配しておりましたが、当日は102名の卒業生全員がそろうことができました。

30名以上のご来賓、200名以上のご家族の皆さんの祝福を受けながら、元気に中学校への一歩を踏み出すことができました。ありがとうございました。

### 校長式辞（一部省略）

102名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

ただ今の、卒業証書を受け取る堂々とした姿や、夢や決意を語る一人一人の言葉に皆さんの成長をしっかりと感じました。

春の修学旅行では、本校に赴任したばかりの私を、皆さんはまるでずっと前から知っていたかのように、ごく自然に明るく親しみをもって接してくれました。その人懐っこい優しさがとてもうれしかったことを今でもはっきりと覚えてます。

あれからおよそ一年、皆さんはどんな時でも、最上級生としての責任を背負いながら、全校児童の先頭に立って頑張ってくれました。とりわけ、運動会での力強いリーダーシップや学習発表会で見せてくれたチームワークのよさ、また2月のたいへん寒い朝、大縄跳び集会での最後まであきらめない強い気持ちには多くの人が感動をもらいました。どのクラスも大変立派でした。

さて、これは皆さんもよく知っている白熱電球です。今からおよそ130年前に、世界で初めて白熱電球を普及させ、「世界から夜が消えた」と喜ばれたことで有名なトーマス・エジソンはこの白熱電球を開発するために、少なくとも6千回以上の失敗を繰り返したと伝えられています。6千回もの実験に失敗しても、それでも白熱電球を作り上げるのは自分しかないと信じていたエジソンは、「天才とは99%の努力と1%のひらめきからなる」という有名な言葉を残しています。

世界が天才だと認めるエジソンですら、地道な努力を繰り返すからこそ成功の秘訣だと語っていることを、私たちは心にとめておきたいのです。

先日、日本出身力士として19年ぶりに横綱に昇進した横綱「稀勢の里」も、インタビューの中で、「同じ練習を毎日、繰り返すのはつまらないし、つらいけれど、そのおかげで自分の相模の形ができて、強くなった。これからも自分の相模を続けるだけです。」と語っています。横綱になっても、これまで通りの自分の練習を繰り返すことを宣言する横綱「稀勢の里」に本物の強さを感じました。

まさに、「努力に勝る天才なし」という言葉のとおり、皆さんもエジソンや横綱「稀勢の里」を見習い、目標に向かって粘り強く努力し続けられる、心の強い人になってほしいと願っています。

最後に、卒業生の皆さんが、小学校で楽しく過ごした思い出を大切にしながら、また、これまでの家族の温かい支えに感謝しながら、中学校への力強い一歩を、元気に踏み出すことを祈念して私の式辞といたします。



卒業証書授与



卒業生



在校生



6年担任



卒業生退場



お見送り

### 【卒業式を終えて、ご来賓や保護者の皆さんからいただいたうれしい声】

- 心のこもった、すてきな卒業式でした。
- 卒業生はもちろんですが、在校生の歌声やお別れの言葉の一生懸命さに感動しました。
- 全体的に児童への指導が行き届いていることを感じました。

### 校長室から

#### 「ひと手間かけたこだわりの指導」

これは、今年度、本校の教職員が共通の目標としてきたテーマです。どんな指導をするにしても、ひと手間かけ、自分なりのこだわりをもちながら指導しようと呼びかけ、目指してきました。その成果はまだまだ十分ではありませんが、次年度も質の高い教育を目指して、全教職員で知恵を絞ってまいります。

保護者の皆様には、一年間にわたり温かいご支援をたまわり、誠にありがとうございました。年度末に当たり、改めて御礼申し上げます。新年度もよろしくお願いいたします。